

第4回御嵩町庁舎整備検討委員会 議事録【概要】

日時：平成27年11月27日（金）

午後7時00分～午後9時15分

場所：御嵩町役場 第1委員会室

1. 開会

【委員長】

ご多忙中ご出席くださり、誠にありがとうございます。

只今より、第4回御嵩町庁舎整備検討委員会を開催させていただきます。

それでは、議題に入る前に、定足数の確認を行う。

【事務局】

本日の出席は12名で欠席なしであり、過半数を超えているため、要綱第6条第2項の規定により本日の会議が成立することを確認させていただく。

2. 議題（1）

【委員長】

それでは早速ですが、本日の会議は、お配りしたレジュメのとおり、整備方針の方向性について、これまでに出示されたご意見をまとめた資料を基に検討していきたい。

事務局より、資料の説明をお願いします。

【事務局】

資料の1ページについては、これまでに皆さんからご発言いただいた内容を耐震補強・大規模改修案、現在地での建替え案、移転を伴う建替え案の3案についてまとめた表となっている。

一番左の列は、第2回の会議で作っていただいた「検討シート」の集約結果から、ポイントとなる項目を拾い出したものである。

この項目ごとに、いただいたご意見を案ごとに見るとどうか、ということで、表の中に問題が解決できるものは○、白い枠で記載し、解決ができないものは×で黄色、対策によっては解決できるものは△で黄色の枠で記載している。

こちらの内容については、これまでに配付した資料やいただいたご意見を基に作成しており、この会議の開催に当たり事前に委員長、副委員長にご確認いただいているのでよろしく申し上げます。

では、内容について、上から順番に、黄色の枠のみ説明する。

耐震化については、現在地での建替え案及び移転を伴う建替え案において、建築設計ができていないため時間がかかる、というマイナス面がある。

また、耐震補強・大規模改修案において、躯体が何年持つか不透明であるというマイナス面があるが、徹底したリノベーションを行うことにより躯体そのものにも耐久性を持たせる対策をとれば解決可能であるとしている。

前回の会議のなかで「耐震化プラスアルファで思い切ったリノベーションをする」という案があ

っても良い」との意見があったので、対策に加えた。この資料でいう「徹底したリノベーション」とは、第2回会議資料の1ページの大規模改修の概要の6億9千万円の工事以上の「既存の建物に大規模な改修工事を行い、用途や機能を変更して性能を向上させたり付加価値を与えること。」とし、費用は当然、増額となる。工事費の積算は出来ていないので、方法論としては可能だが、費用は6億9千万円よりかかるという視点で議論をしていただきたい。

同じく耐震化については、耐震補強・大規模改修案において、梁や筋交いを入れることにより狭隘化や照度不足が発生する、というマイナス面がある。

防災機能については、耐震補強・大規模改修案において、対策本部室などのスペース確保にマイナス面がある。

また耐震補強・大規模改修案と現在地での建替え案において、敷地面積に限界があり、有事の際の応援部隊の駐車場所確保にマイナス面があるが、隣接する向陽中学校、御嵩小学校のグラウンドを使用することで解決可能としている。

地盤の安定性については、移転を伴う建替え案において、移転先の場所により高額な費用が必要となるというマイナス面があるが、安全な場所を選定することにより解決可能としている。

財政面については、移転を伴う建替え案において、地盤の安定性と同様に、高額な費用が必要というマイナス面があるが場所により解決可能としている。

また耐震補強・大規模改修案において、光熱水費などのランニングコストが現状のままというマイナス面があるが、徹底したリノベーションを行うことにより環境共生型の施設設計を行うことで解決可能としている。

設備の老朽化については、耐震補強・大規模改修案において、後年度に更なる大改修が必要となる可能性があるというマイナス面があるが、徹底したリノベーションを行う際に必要な設備の更新を行うことで解決可能としている。

町の活性化については、耐震補強・大規模改修案において、住民の交流スペースを設けることができない、庁舎周辺の風景が変わらないというマイナス面がある。また、移転を伴う建替え案において、移転先のまちづくり計画が無い、現庁舎付近が寂れるというマイナス面があるが、前者は移転先における新たな街づくり計画を策定すること、後者は現庁舎の跡地を有効的に利活用することにより解決可能としている。また、耐震補強・大規模改修案、現在地での建替え案において、場所がそのままであるため新たな場所の活性化はできないというマイナス面がある。

駐車場問題については、耐震補強・大規模改修案、現在地での建替え案において、工事中の駐車場確保が困難である、敷地面積に限界があり駐車場所の確保に問題がある、駐車場の立体化は高齢者や障がい者に優しくない、というマイナス面があるが、近隣の用地を借り上げ、又は取得して駐車場の敷地を確保することで解決可能としている。

環境モデル都市については、耐震補強・大規模改修案において、環境負荷の低減や自然エネルギーの利用が困難であるというマイナス面があるが、財政面でもあったように、徹底したリノベーションを行うことにより環境共生型の施設設計を行うことで解決可能としている。

施設の再編、集約については、耐震補強・大規模改修案、現在地での建替え案において、複数の施設が共存できないというマイナス面がある。

用地の確保については、耐震補強・大規模改修案、現在地での建替え案において、庁舎敷地は確保できるが駐車場対策が必要というマイナス面があるが、駐車場問題と同様に、近隣の用地を借り上げ、又は取得して駐車場の敷地を確保することで解決可能としている。また、移転を伴う

建替え案において、用地の選定や取得のための労力や費用がかかるというマイナス面があるが、明確なビジョン（将来像）を持って町民に対し付加価値への理解を求めていくことで解決可能としている。

最後に、使いやすいという項目については、耐震補強・大規模改修案において、建物面積に限界がありユニバーサルデザインへの対応ができない、個別相談等のスペース不足が解消されないというマイナス面がある。また、OAフロアなどの高度情報化への対応が困難というマイナス面があるが、こちらは徹底したリノベーションを行うことにより解決可能としている。

以上が3案併記の表の説明となるが、これを分かりやすくするため、2案毎に分けて比較したものが2ページの表になる。

こちらは、耐震補強・大規模改修案と建替え案の比較であり、この庁舎を改修してそのまま使うか、新しく建て替えるかという視点で意見を記載している。意見の内容は同じであるため、説明は省略する。

続いて3ページについては、現在地なのか移転するのかという、建替えをする場所によって分けている。

これら三つの表によりご検討いただきたい。

続いて、4ページについては、検討委員会として町長に答申する際の答申書の案を掲載している。

まん中から下の1から3のところに、検討委員会としての意見を記載することになる。こちらには皆さんからいただいたご意見の一部しか記載できないが、4にあるように、いただいたご意見については別紙「意見書」として記載して添付する。

資料の説明は以上です。

【委員長】

それでは、検討に入る前に、この委員会の検討事項の確認のため、第1回会議資料の3ページをご覧ください。

この委員会の諮問事項は、この諮問書にもあるとおり、「本町の庁舎について、建築後36年を経過し老朽化が進行していること、及び耐震診断の結果南海トラフ巨大地震の想定震度である震度6弱に耐えられない構造であることを鑑み、現在の庁舎の耐震補強及び大規模改修の実施又は庁舎の建替え（移転を伴うか否かを含む。）のいずれの整備方針とするかについて意見を求めます。」となっている。改めてこれを頭に入れておいていただき、検討を進めていきたいと思う。

まず、今回の資料の2ページ、耐震補強・大規模改修と建替えの2案について検討していきたい。この2案を比較してみて、気付いた点やご意見を伺いたい。

【委員】

建替えの案がいい。その理由としては、まず一つ目に、駐車場を始めとする様々なスペースが少ないことが挙げられる。

例えば、スペースが少ないために、資料を遠い場所に保管しているので、お客様に資料を出してくれとお願いされても、お客様が要求されている資料をすぐに出せないことがある。これは自分の所属部署に限った話ではないと思う。すぐに資料を出せるようにするには、やはりスペースが必要である。

二つ目には、私はまだ3年目なのであと40年弱くらい御嵩町役場で働くことになるが、耐震補強・大規模改修によって何年もつのが不透明であり、非常に不安であることが挙げられる。

10年、20年経ったときに、今回の調査では発見できなかった不良箇所が出てきて、また余計にお金がかかるのではないかと、ということも危惧している。

以上から、安心して業務を行ったりお客様を迎えたりするには、耐震補強・大規模改修では難しいと考える。

【委員】

ここで働いている者の意見として聞いていただきたい。現庁舎内部については、先程も意見があったように、事務スペースの手狭さを感じている。通常の打合せのスペースもなかなかないが、あっても声が駄々漏れとなるような所ばかりで、プライバシーに配慮した場所がない。

前回、役場というものは事務的なことをしっかりとやってくればそれでいいという意見もあったが、行政運営をしていく中では、今申し上げたようなスペースの問題などがある状態は、決していい環境ではない。この状態では、対策本部のスペースや災害時のボランティアが活動するスペースは、到底、確保することはできない。

したがって、せつかく7億円近くもの大金を使っても、今挙げたような問題が解消されないならば、耐震補強や大規模改修をしてまで現庁舎にこだわるメリットがあまりなく、建替えが一番いいと考える。事務スペースや動線を適切に確保するということはもちろん適切な行政事務を行う上で必要であるし、自分が行政サービスを提供する中で、事務スペースや打合せのスペースを確保することは最低限必要なことであると思う。もちろん新しいに越したことはないし、それによって私たち職員のモチベーションが上がるかもしれないが、それは二の次であり、やはり利用する側の目線に立たなくてはならない。しかし、ここで仕事する私たち職員の間にも目を向けていただけたらいいと思う。

【委員】

私も建替えがいいという思いがある。使いやすさやプライバシーの問題については私も当初から言っていたところではあるが、ユニバーサルデザインに対応していくことは、むしろ使いやすさというより、行政の社会的責務であると感じている。

そういった視点や福祉的な視点から言うと、手狭なスペースしかない現庁舎は、相談にいらっしやったり車いすでいらっしやったりするお客様に非常に優しくない建物であると言える。

また実際に地震が起きたら現庁舎が倒壊するかもしれない状態にあるので、当然、災害対策本部という機能は備えておかなければならない。特に御嵩町は亜炭鉱廃坑があり、同じような地震が起きたとしても、周辺自治体とは異なる、想定を超える問題が起きてくると思う。町としてさまざまな防災対策をとっているところではあるが、亜炭という見えない部分がどういう状況になっているかわからない中で災害対策本部を立ち上げようとしたときに、スペース的な問題もあるし、他では起こりえないようなことも起こりうるということを想定しながらきちんとした形で災害対策本部を立ち上げなければならない。現在の施設ではどこまでできるか非常に疑問に思うところがあるので、新しく建て替えて、災害に強くユニバーサルデザインにも対応した、優しい建物にすべきであり、建替えがいいと考える。

【委員】

私は、建替えがいいと考えている。

職員の3人が言ったように、ちょっとした相談でも周りに全部聞こえる。安心して相談ができる場所がほしい。現庁舎を耐震補強・大規模解消してもその問題は解消されない。

大規模改修したとしても、近い将来建替えか、また更に大規模改修しなければならない時期が来ることになる。今なら財政的にある程度はいけるということであるなら、いっそのこと思い切って建替えがいいと思う。

【委員】

この場所で建替えがいい。

行政の場所は派手な場所ではなくていい。他の所に建ててもいいが、強度に不安がなければ、ここは地盤がいいと聞くし、この場所で建替えをすればよいと思う。

駐車場スペースがないというが、ここに一局で集中するから、何かがあったときに全部集まって、400台、500台駐車できる駐車場が必要になる。

また対策本部設置に必要な具体的なスペースがわからない。事務方としても狭いというが、どれくらいスペースがあったらいいのか。事務方として使い勝手のいい場所にするにはどれくらいのスペースが必要かについて案を出していただいた上で、だからこの場所で建替えはだめだ、もう少し広い場所がいい、と意見を言っていたきたい。

他の所に行った時も思ったが、やはりホールがほしい。ホールがあればさまざまな所や人との交流の輪が広がる。そこから得るものは大きいと思う。知り合いの方も、「御嵩町にもホールが欲しい」と仰っている。庁舎が古いから建て直して、という意見はあまり聞かない。

リノベーションはこの建物では無理かなと思うが、できればここで、3階建てや4階建てにするとかして、スペースを確保していただけたらよい。災害対策本部は必要だが、最小限にしておくべきである。災害対策を行う場所は災害があったところに置くべきであり、本部としての連絡はここの一本でやったとしても、本部は具体的に動く場所ではなく、案や指令を出したりするところであるので、具体的に動くことができる場所は各地にあればよい。そう考えると本部としてのスペースはそれほど必要ではない。なるべくここで建替えがいい。できれば近所の人々が場所を移さなくて済むとよい。

【委員長】

庁舎というものは、地域の公共団体の施設であり、全ての中枢を司るところでないとならない。今ご意見があったように、もちろん、住民の多くの意見はホールや多目的施設が必要と考えていると思う。良いご意見として賜っておく。

大々的なリノベーションをして、ここで、現庁舎を補強して使っていくというお考えであるか。

【委員】

現庁舎が50年は持つと聞いて、それならば現庁舎を使っていくべきではないかと考えたが、ここは湿気が多い。その対策やリノベーションというものがどの程度のものかわからないが、耐震補強・大規模改修案がただの耐震補強だけであるならば、ここで建て替えるべきという意見である。

【委員長】

実際ここで職務を行っている職員の方や他の委員が仰ったように、狭い中で執務を行っている状態である。住民が税務課など各々の課へ相談に来たり、申請の方法を尋ねたりするが、住民が来て相談するという事はプライベートなことであるので、スペースの確保は必要であると考え

【委員】

私は、この場で耐震補強・大規模改修という案に賛成である。1 ページ目にあるように、徹底的なリノベーションに合わせて設備の更新を行うことによって、かなりのことが解消できると考えるからである。

【委員】

職員の委員の方から出た意見は使い勝手の問題ではあるが、そこで指摘された、災害時に非常に対応しにくいという問題については、特に耐震補強・大規模改修をただけでは、規模的には大きく変わらない。

確かにリノベーションや大規模改修をやれば、建物自体を相当の年数持たせることはできると思うが、災害対策機能に対しては、やはりまだ問題が残る。

また行政事務を行っていくうえで、災害時だけではなく通常の行政機能を担保していくためには、ある程度スペースを確保しておく必要がある。

耐震補強・大規模改修だけでは充足が難しい。大規模改修となると、相当の費用がかかる。耐震化を含めて大規模改修を行おうとすると、ほとんど建替えと同じような状況にしないと、建物自体が長期持たない。

それらの機能を万全に担保するためには、建替えが必要ではないかという思いを抱いている。

【委員】

私も、建替えがいいと思う。今回頂いた3案併記の資料を見ても、大規模改修には問題が多く、建替えの方は問題が少ないので、この資料を見ても、皆さんは建替えがいいという考えであると思う。大規模改修の方は、どこまでやるかという問題がある。簡単にやっても7億円かかるということで、やり方によっては倍の15億円くらいかかる可能性もある。

配管などは、変えないと持たないので、全部変える必要がある。金額は7億円をかなり超えて、建替えに近い金額になってくると思うので、それならば建替えがいいと考える。

まだ土地の方は探されていないということだが、私の個人的な意見としては、とりあえずいい場所があったら検討してみて、無理なら現在の場所で建て替えるということも一つの案であるかなと思う。

やはり今の場所では何も変わらない。これから名鉄広見線もどうなるかわからないから、場所を変えてみて、御嵩町も新しいことも検討していくべきであり、だめだったらこの場所で建て替えるという意見である。

【委員】

私の意見としては、建替えである。

その根拠として、庁舎の現状に対して、今後庁舎に期待される要件・項目には、かなりの課題があり、それを解消しようとするには、大規模改修では追いつかないことが挙げられる。もともとの建物が建ったときの当初の建物に対する考え方の中には、長寿命化という発想があまりなかった。そういった経緯で建てられた建物を長寿命化させようとする、課題が非常に多すぎる。

耐震化や設備の問題があり、それに加えてこれからの庁舎の使い勝手、防災機能という庁舎にとって非常に重要な機能、それらを全部クリアしようとするには、耐震補強では、どれだけお金をかけても追いつかない。資料にあるように、黄色の部分が多いということは、課題が多いということであると考え。そこで、今後の庁舎の在り方を検討してクリアにしていくべきであることから、全部やり直して、建替えということで、計画を立て直した方がいいかと思う。

【副委員長】

皆さんのご意見と同じように、建替えを町長に進言できたらいいと思う。耐震補強・大規模改修ということであれば、そのときにはわからなくても、年数が経つと急に劣化して、金属疲労やコンクリートの疲労が始まることがある。徐々にという部分があれば、急に起こることもよくある。今の技術ではよくても、今後のことを考えると、表の黄色の部分になるべく少ない建替えの方がリスクが少ない。前回もお話ししたが、これから長寿社会になってれば、当然、耐震化して狭くなるよりは、やはり広いスペースで、車いすで来られる方も体が不自由な方も楽に通ることができるよう、建替えがいいと思う。

【委員】

日本建築学会の11月の雑誌に、建築コンペの最優秀案として、御嵩町出身の名古屋大学の人の案が載っている。その部分を読ませていただく。亜炭鉱のある岐阜県御嵩町は、亜炭採掘でできた空洞により、地盤陥没を引き起こす可能性が高い地域であるので、亜炭鉱を通過するように大きな杭でもって掘り下げて、穴を埋めるのではなく、色々な所に掘り込んでつながるようにして、大きな鉱を設けることで地盤沈下を防ぎ、更に亜炭鉱の空洞を活用するという、非常に大胆な案である。中山道の街並みを保持した点が評価されて、最優秀案に残ったものである。

何が言いたいかということ、まちづくりを考えていくときに色々な案がありえるということである。これからの御嵩町をどういうまちにしたいのか、していくのかという、大きな将来のビジョンがあれば、いろいろなアイデアも出てくると思う。

いただいた資料によると、現在の建物の耐震補強・大規模改修には黄色の部分が多く、つまりは問題が多い。建替えの場合には現在地か移転かという問題もあるが、一番大きいテーマは費用である。建て替えると費用がかかる。移転すれば、加えて用地費もかかる。それだけの費用をかけるだけの価値があるのかどうか。庁舎はまちにとってどれくらいの価値があるのか。

耐震補強・大規模改修には7億円かかるという見積もりである。設備更新と仮庁舎建設に多くの費用がかかる。耐震補強だけで言えばかなり安くなるが、実際やろうとすると、老朽化した設備を更新したり仮庁舎を建設したりする費用が必要になる。仮設の費用が無駄であるので、思い切って建替えの方がいいのではないかと、ということも考えられる。

費用が安いに越したことはない。移転による建替えにしても耐震補強・大規模改修にしてもいくらかになるかはわからないが、1~2年で設計して工事しようとする、東京オリンピックまでの期間が一番コストが高い。

まちにとって、財政的にマイナスな借金を大きくすることは避けた方がいいことがまず考えられる。これから人口増加や税金収入増はないだろうし、今後はより財政が厳しくなることを考えると、費用をなるべく抑えて目的を達成すべきである。資料の黄色や×になっているところを、何とか今の費用の中でプラスに転じることはできないか。費用を増やさずに対策できる案があれば、耐震補強・大規模改修+ α という形にしたらどうかというのが私の案である。現在地での建替えではなく、現在地での耐震補強・大規模改修+ α のやり方で、黄色をなくしていくことはできないだろうか。

大規模改修の7億円の費用の中の設備更新費は、新庁舎を作っても、どのみち将来的に何年かしたら必要になってくる費用である。

仮庁舎は無駄ではないかという意見もあるだろう。1億5千万円もの費用がかかるので、確かにそうともいえる。しかし、仮庁舎を作らずに大規模改修はできないか。そのためにはどうしたらよいか。仮設住宅みたいな形ではなく、恒久的に使える施設を作って、一時的にそこに移動して、補強が終わった後も使い続けられれば、工事が終わっても壊すわけではないので、無駄にならない。

町の活性化については、現在地で建て替えるのでは活性化につながらないとあるが、本設の庁舎をまちの中に作って、庁舎まるごとではなく、そこに+ α で窓口業務、災害対策本部、図書館やホールなどを含む交流スペースのみを移すことにすれば、敷地をより容易に見つけることができるのではないか。さらに必要において駐車スペースを設ける。窓口がまちの中に行って、バリアフリーという形をとれば、まちの人もアクセスしやすい。

丸ごと移動すると、場所のことや内容面で検討する事項が増えて、費用や時間かかる。庁舎のスペースが全体で足りないということなので、一部をまちの中に持って行って、まちを活性化しつつ、本庁舎の耐震補強も行うことは、費用的にも、まちの活性化についても、スペースの不足についても対応できるのではないか。アイデアなので、うまくいくかはわからないが、資料にある黄色のマイナス面を解消する方向としてありうらと思う。

また耐震化の所で、梁や筋交いを入れると、狭隘化するのではないかということについては、設計デザインで対応できる可能性がある。新築よりは使いやすさなどは劣るが、対応は可能であり、他のことについても、今までに述べたことで対応できると思う。このように述べる背景には、庁舎の建替えにそれだけのお金をかけてもよいのか、基本的な姿勢として、まちにとって必要なものを先に作って、庁舎を一番後回しにするべきではないかという考えがある。先にやるべきことがないか、同じ費用で、先に町民が必要とするものを整備して、一番最後に庁舎を整備すべきでないか。

実際に行おうとすると、実現性や、費用、見積もりも考えなければならないが、このアイデアに、建替えがいいという意見に対する説得力があるか、皆さんに議論していただきたい。

【委員長】

委員からアイデアをいただいた。耐震補強・大規模改修でも、黄色の部分が解消されるのではないかという内容であった。耐震補強をし、大規模改修をし、まちの中に本庁を分散させ、新しく建設するということであるが、費用面でできるだけ少なく抑えるということを考えると、個人的には、新しく建てた方がかえって安い気もする。その点はまだ議論されていないので、ご意見があれば発言していただきたい。

【委員】

補足を述べる。事例としては、長野県飯田市の再開発事業において、まちの中に立体駐車場を作って、その一部に市の出先窓口機能を全部集めてワンストップ型にしたものが挙げられる。ここでは再開発事業があることが前提で、その一部を使うということであった。御嵩町では、今の段階ではまちの中に移転するとしても場所の候補がまだないので、これから検討・調整が必要ではあるが、事例の無いものではないということを確認させていただく。

【委員長】

いずれにしても、絞っていかないと議論が先に進まない。建替えの意見が多かったので、その中で、委員の意見を取り入れて考えてもよいかと思う。皆さんの意見を尊重して、二択の内一つに絞りたいが、いかがか。

【委員】

委員のアイデアは、多治見市で実践していることでもある。

駅の北に分庁舎を作った。分庁舎といっても、本当に必要な公共施設の洗出しや保健センターの移転であるとかを色々練っているうちに、そこに教育委員会や市民の窓口をくっつけようということで、結果的に、本庁舎からある程度移転して、早く整備しなければならない役所機能の一部が集結した状態である。耐震補強をするということは、いずれは建て直さなければならないという前提がある。それが何年後くらいかということを確認して、本体がどのくらいもつのかということを確認していかなければならない。

50年持たせるという前提で耐震補強をするのか、とりあえず急ぎの物を作って、いずれは建て替えるのか、ということまで検討しておかなければならない。

【委員】

鉄筋コンクリートの構造物であれば、昔の方が丁寧に作っているので、300～400年持っているものもある。近代建築では、そんなに持ったものはまだない。

鉄骨はというと、100年以上持っているものはあっても、まだ事例がないので、200年300年持つかはわからない。いずれにしろ、未来永劫壊れないものはない。必ずいつか壊れる。見通しができるのは数十年後までで、その先は、メンテナンスのやり方によっても変わるが、いずれにしろ、いつかは建替えをしなければならない。

【委員】

そのような検討も合わせてしていくべきであると思う。あくまでも、二者で選択しなければならないのか。黄色の部分についてももう少し検討してみてもどうか。

【委員長】

スケジュールの日程は、4回でお願いしている。委員会をもう一度、もう一度と開くことは妥当かどうか。12月には議会が始まっていく。職員もそちらに関わっていくので、できる限り、この4回でまとめて答申に近づきたい。

【委員】

前回の会議の時に、大規模改修をやりながら、スペースが不足する部分には増設して機能を果たすという方法を提案した。

委員の仰ることは、機能の一部分散であると思うが、たとえば、仮庁舎の代わりにまちの中に住民サービス機能が担保できる建物を作って、合わせて現庁舎を大規模改修し、設備も更新するとなると、相当の金額が予想される。

そうすると、むしろ、建て替えても同じような財政負担になるのではないかと思うがどうか。

【委員】

空きビルや空き家があれば、それらを補強・リノベーションして使うと、まちの活性化にもつながり、また新しく建てるより、費用が抑えられる。財政的な負担をできるだけ抑えたいと考えている。

また、ここで新しい建物をつくることはどうか。職員のやる気や執務の効率は上がるかもしれないが、まちにとって建替えをした庁舎は必要か。庁舎は町のシンボルであり町民の財産ではあるが、御嵩町全体の活性化を考えると、庁舎を建て替えるにせよ補強するにせよ、そういうことを考えた取り組み方針を出す方が夢があり、町民の方も期待が持てると思う。

現在地での建替えは、まちづくりの点からはあまり賛成できない。お金がかかるし、活性化や波及効果が弱い。費用を抑えて行う方法はまだ他にもあるのではないか。

確かに、こちらにも新築して、他の所に新築することになったら、費用は増える。しかし、やり方はいろいろある。

まちとしていいチャンスであるので、一つの案に固めるよりも、いくつかの案を出して、もう少し検討したい。

【委員】

建替えより、耐震補強がいいという意見である。

前に、庁舎を移転し新しく建て替えることは町民の夢の実現であるという意見があった。職員にとっては夢かもしれないが、町民からすると、新しい庁舎は夢の実現ではない。夢の実現といえるのは、委員の仰るような、町民の一体感が味わえるようなホールをつくることである。

夢も実現しながら、堅実に費用面を抑えようと思うと、まず耐震化はやらなければならないが、他の部分では、駐車場を広くするために増築したり、先ほど出されたアイデアのように別の所に作ったりするなど、もっと柔軟に対応すべきである。

ホールも、中公民館の改修も、一体的に考えるべきである。町民の夢を実現するため、庁舎は機能重視で、費用を抑えた方がよい。

【委員長】

建替えをするなら、移転か現在地かの話にはまだ入っておらず、耐震補強・大規模改修か、建替えかという二択で意見をお伺いしたいところである。

私の抱えているイメージをお話しさせていただく。改修には7億円かかる。この面積で住民のプライベートな相談を受けることもままならないほど狭いなら「分庁舎」を作って、一部の機能

を他に設ければよいのではないかという意見については、土地の確保や費用の問題を考えると、新しく建て替えた方がいいのではないかと思う。

御嵩町の面積はそんなに広くない。その中で分庁舎を作るのはいかがなものかと思う。今でも、上之郷、中、伏見と、支所があり、しかも各々老朽化している。こちらも当然改修していかなければならない。

わざわざ分庁舎化して施設を持つことになると、逆に費用がかかりそうである。

【委員】

行政サービスにおいて、業務の分散化のメリットはあるか。大きな都市では、水道局が独立しているような所もあるが、御嵩町のような小さい町では、空きビルもないし、行政サービスの分散によって、かえってサービスの低下を招きかねない。

職員が少ない分、横の連携が重要となる。部署が離れると、余計連携が取れなくなる。小さな町は集約した方がメリットがある。御嵩町は「分散化」に当てはまらない。

【委員】

北庁舎にある教育委員会はスペースが大きすぎる。むしろ教育委員会など子ども関係は、保健センターの中にあつた方が、来庁者も相談しやすいのではないか。そうすれば、北庁舎の2階が空き、スペースができる。

【委員長】

いろいろな使い道があると思う。先ほど仰られた意見のほか、教育委員会を移動させて、その空いたスペースに、商工会に入っていくという手も考えられる。

新しく建てるか大改修をするかという以前に、果たして庁舎は現在地でよいのかということを考える必要がある。

大きな災害が起きて、自衛隊などの応援を呼ぶ必要が生じたときに、現在地ならば、近くに小・中学校のグラウンドがあるので、そこで駐屯所を設けることができる。御嵩分署・御嵩交番、希らり館も近い。裏には保健センターもあることを考えると、現在地が一番ベターなのではないかと思う。

現在地でとなると、駐車場の問題が出てくるが、その対策として土地を借りるか買うかの前に、立体化駐車場は高齢者や子ども連れに不便ではないかという意見もあつたが、立体化した上の階の部分に職員が駐車して、お客様には平地の方に駐車していただくようにすれば解決することができる。

補強、大改修、思い切ったリノベーションは、この土地では狭すぎて、余計に駐車場が狭くなってしまふ。他の委員の方々が仰るように、事務ができる場所で、町民が寄りやすいどこかに、分庁舎という形であまりお金をかけず、作ることができたらいいと思う。

しかし、費用面が心配である。補強して改修していくだけで7億円近いお金が出ていく。現庁舎を補強している間の、仮設の事務所も建設しなければならない。仮設の事務所にわざわざ引越しをして、完成すればまた引越しとなる。仮設での期間がどのくらいになるかはわからないが、住民からの相談・申請を受ける場所としてそれでよいのか。

もちろん現在地で建て替えても同じことが言える。しかし、建替えならば、エレベーターをつ

けたりするなど、身体障がい者のお客様も使いやすくするようにしたり、健常者はもちろん、身体障がい者の職員の方も気持ちよく働くことができたりするような建物にすることができるが、耐震補強ではそうはいかない。

もう一つ、大事なことは、住民がどう思うかということである。そのことを考えていくと、新しく建替えをするべきであると思う。

【委員】

確認したいが、諮問書は二者択一しかなかったか。

【事務局】

委員長が仰ったように、この諮問は、3案について意見を求めるというものである。全会一致というものはなかなか難しいと思うので、こういう意見が大多数を占めたが、こういう少数意見もあった、というように明記することも考えられる。皆さんそれぞれの意見があると思われるので、それも含めて町長に答申して、最終的にそれぞれの中から選んでいただくということも一つの手であると思う。

大規模改修と現在地での建替えについては、概ねご意見が出たので、最終的に委員長にまとめていただきたい。

【委員長】

わかりました。さきほど事務局が仰ったように、諮問については3案についてすべて明記し、意見として添付させていただく。

皆さんのご意見を伺っていくと、分庁舎化という意見も含め、新しく建替えという意見が非常に多かった。

どちらかに分けることが難しい意見もあるが、その意見を補強並びに改修のご意見としたとしても、建替えの方のご意見が多いように感じた。ということは、建替えの方がメリット大きいと皆さんが考えられているということである。

したがって、前に進めるために、この検討委員会では、耐震補強並びに大規模改修の案は除いて、建替えという方針にするということ決定してもよろしいか。

【委員】

ここで一本にまとめなければならないのか。いろいろな案があってもいいと思う。

ここでの意見が資料の答申案のように1、2、3とあるということ、町長に提示していただいて、あとは議会でまとめていただければいいと思う。

【事務局】

手法は様々あるが、委員長が仰ったのは、とりあえずこの委員会として総論としてこうなったというように答申を作ろうとするものである。それ以外の方法でというと、先程申し上げたように、建替えという意見については賛成が多かった、耐震・大規模改修については、少数だがこういう意見があった、というように答申書に載せるというのも一つの手段である。

【委員】

まちの中に一部の機能を移転し分散するという意見が魅力的であったので、一本にまとめるのはもったいないような気がした。

【事務局】

全部固めなくてもいいと思う。これまで議論してきた中で、色々な意見が出てきたので、1つにすることはなかなか難しい。

【委員】

分散するというご意見は、別の敷地があったら、そこに例えば防災機能を担う施設を作っておいて、そこはそこでまた使うというもので、同一敷地ではないだけであって、機能分散とは違い、近辺に適した所があれば整備するというようなイメージで私は聞いていたのであるがどうか。

【委員】

一部の課をどこかに持っていくという意味で言ったのではない。

移転するにふさわしいもの、緊急に整備すべきものをまず移転しようとする、必要なスペースを確保する必要がある。他で建替えなら不要であるが、ここで工事するなら、その間の避難場所が必要である。その場所を一時的に利用するだけではもったいないので、まちの中にあつた方がアクセスしやすいようなものや、できるだけ早く作つた方がいいような対策本部などは、将来ずっと使うものとして設計しておけばいいのではないか。

機能を分けるということではなくて、まちの中にあつた方が望ましくまちの活性化にもつながるようなもの、町民に便利になるようなもののスペースとして、まちの中に持っていけばいい。

先日郡上八幡に行ったが、建設課は県の事務所から一部借りている状態であつた。御嵩町と人口でいえば規模は一緒くらいの自治体である。もう少し色々なアイデアはありうる。

ただ、どこにどういふスペースをつくるとか、どのくらい費用がかかるなどとは言えないし、だんだん絞られてきているところではあるが、せつかく、白紙の状態からと言われているので、そういうアイデアも検討していけたらいいと思う。

【委員】

郡上八幡は、職員の数は大体どのくらいか。たくさん職員がいるなら、分散しても何とかやっけていけると思うが、御嵩町では職員の数が少ない。

【委員】

郡上八幡の職員の数はわからないが、町民に対しての職員の数で言うと、例えば、可児市は多治見市の半分くらいしかいない。かかる人件費が、多治見市は可児市の2倍くらいとなっている。それは町によってかなり違う。歴史的なことも関係している。

【委員長】

ここで10分程度休憩としたい。8時40分から再開とする。

～休憩～ 午後8:33～午後8:40

【委員長】

それでは、再開する。

建替えをした方がいいというご意見の方が多かったが、費用面で、耐震補強・大規模改修については、仮設庁舎を作って移転するくらいなら、それを活かした建物を設けたらどうかという意見をいただいたので、その意見を付させていただきます。

そこでお諮りしたいのであるが、建替えがいいという考えの方にそのご意見を聞きたい。建替えをするならば、新しい用地を確保して移転するのか、もしくは、現庁舎のあるこの土地で建替えをするか、どちらのご意見であるか伺いたい。

【副委員長】

建替えを中心に考えて、耐震のことを考えると、スピード感は必要だと思う。ただし、まちづくりのことを考えるならば、新しい所へ出てこれからのまちづくりにつなげるべきと感じる。

どちらか、というのは難しいが、スピード感があれば、例えば期間内に適した土地の見込みが得られれば土地を探して移転するという意見である。

【委員】

建替えがいい。しかし、委員の意見も選択肢としてありうる。

建替えの場所は、現在地がいい。

【委員】

新しい土地へ行きたい。探すだけ探してみたい。多少アクセスが便利になるし、人にも説明しやすくなる。他に場所がないなら現在地で建替えをする。そんなに時間はかけられない。

【委員】

建替えなら敷地面積が問題となる。駐車場など、全体的な面積が必要となる。現在地で建て替えたとして、なお問題が残るようなら、新規の土地を開拓する。

現在地で可能かどうか、しっかり検証をすべき。基本的には、移転もやむを得ない。

【委員】

建替えがいいが、移転するか現在地か悩む。

適切な場所があって、予算があれば移転した方がいい。

【委員】

移転がいい。庁舎の在り方の考え方として、まず交流スペースを作る中に、結果的に執務スペースができるという形もある。

しかし、決めかねる部分がある。検証しつつ、町民アンケートなど広く意見を集めた方がいいと思う。

【委員】

現在地であれば駐車場の問題、スペースの問題があり、デメリットが多い。解決するなら移転も一つの策である。

役場の庁舎は、まちの中央部に置かなくてもいい。今、御嵩町の中心部は伏見という見方もある。伏見は、可児市に近い。可児警察署や可茂総合庁舎(県)が近く、緊急輸送道路も通っており、災害時にうまく対応できる。

伊賀市は、行政機能だけ移転した。観光ゾーンと行政ゾーンに分けている。

自分の中で移転先を3~4か所イメージしている。そこで期待できる効果もある。移転するのがベストであるとする。

【委員】

建替えて、移転がいい。

20代の若手と話し合った結果、皆、移転して建替えという意見であった。少子化、町民減少化の問題がある中、何とかして町民を増やしたい。

ここでの建替えでは、まちづくり計画や都市計画は今のままであり、町民も増えていかない。移転をして、庁舎を玄関としてまちづくりの足がかりにしたい。

【委員長】

方針を一本に絞るのは難しい。それぞれの案について、こういう意見もある、という形で答申を出したい。あくまでも、最終決定は町長である。

事務局から説明があったように 移転するにしても、ここで建て替えるにしても、ビジョンがなさすぎる。ビジョンを立てることが大きな課題である。また、新たな場所へ移転するとなると、土地の確保の問題がある。条件が付いてくるが、この委員会ではそこまで入らない。

今伺った中では、移転して建て替えるという意見が多くを占めた。移転して建て替える場合については場所を探さなければならないが、期間のこともある。また、総務省、消防庁から非常用発電設備がない公共団体には、早急に設置するよう指示が出ている。他になれば現在地で、ということもやむをえない。

どれをやめてどれにしようではなく、3案についての貴重な意見を答申に付させていただく。

4ページの答申案について、まず、本文下段のところ、「なお、現庁舎が耐震性に乏しく職員及び来庁者の安全が確保できない状況に鑑み、この問題を解決するため速やかに方針を決定されるとともに、設計図書等を町民に開示し、意見を聞く機会を設け、広く、永く町民から愛される庁舎を整備されることを心から念願します。」について、町民に対して情報開示や意見徴収をきちんとされるよう記したいと考えるが、ご意見をいただきたい。

【委員】

「現庁舎が耐震性に乏しく職員及び来庁者の安全が確保できない状況に鑑み、」という文言は、かなり限定的である。

災害時の行政機能の遮断、麻痺のおそれを文言として入れる必要がある。今の文言では若干弱い。おそれが強い、ということで、諮問が出ている。

文言はお任せするが、そういった言葉を入れるべきであると思うがどうか。

【委員長】

わかりました。

他にご意見がないようなので、今仰っていただいた文言も追記して確認させていただく。

次に、3案に対する意見として、1の「耐震補強及び大規模改修の実施」については、3人の委員の方の発言の旨を入れ、2の「現在地の建替え」については、建替えの考えの少数意見、3の「移転」については、多数意見、という旨の概要を示していきたい。

答申の概要も含めて議論が中途半端であるという意見があったので、答申の原案の確認の前に、もう一度委員会を開くべきか、又は事務局と相談して作った答申を郵送で確認させていただくか、ご意見があったらお聞きしたい。

【副委員長】

皆さんからのご意見を基に、1、2、3案のどれをも消すことなく、どういう人数がどういう意見を出し、どういう対応をしたらよいと考えたか、また、少数意見はこうだった、多数意見はこうだったが、財政面の問題もひっかかる、というように事務局で作っていただいて、答申書の原案を委員長と事務局にお任せして、郵送していただいて各委員に確認し、その後、第5回をやるか決めたい。

【委員】

答申案は、委員として確認する必要がある。

委員長と事務局でまとめていただいて、各委員に送付していただき、修正したいものがあれば事務局へその旨の意見を提出して、最終的な答申案を作って、次回の会議を設けていただきたい。

【事務局】

皆さんにしっかり議論していただいた結果を基に、委員長と協議し答申案の原案を作成して送らせていただく。

【委員】

様々なご意見が出たので、答申案に欠落している意見や疑問点があればそのことを事務局に伝え、またなぜ大改修は少なかったのかなどを考え、委員の方々に修正案を出していただいて、それを基に最終的な案として事務局にまとめていただきたい。

【事務局】

まとめるのに時間をいただきたい。こちらでまとめた答申案を送らせていただき、会議を開かずにまず意見を聴取して、頂いた意見をもとに最終案を作成させていただく。

【委員長】

いったん事務局に案をまとめて送っていただき、それに対して各委員の方に修正などのご意見を送っていただく。

【事務局】

次回の会議で修正していただいてもよい。

【委員】

次回で修正しようとしたり、最初からやろうとしたりするとまた会議が混乱する。委員長や事務局に答申案を作成していただき、次の会議の前に事前に答申案を送っていただき、ヒアリングというような形で意見を募り、聴取した意見を確認した中で、これで行くという方向が出れば、次回の会議で最終的な答申案を委員の方々に確認していただければよい。

【委員】

事務局にたたき台をつくっていただきたい。

【事務局】

事務局でたたき台を作り、その後、皆さんから意見をいただき、こちらでたたき台を修正する。その上で次回の会議を開きたいと思うがどうか。

【委員】

事務局案に修正がない場合は会議を開かないということか。

【委員】

最終的には会議を開くべきである。

【委員長】

皆さんの総意ということで答申案を出させていただくので、会議を開かせていただく。

【委員】

これまでの委員会の資料はオープンにしているか。

【事務局】

ホームページに掲載している。議事録は会議で皆さんの了承を得てから載せている。

【委員】

町民が誰でも見れるような状態であるということか。

【事務局】

ホームページで誰でも見れるような状態にあり、資料を見た上でご意見があればメールを送信してくださいと、そういった言葉も添えてある。なお、今の所、まだ意見は頂いていない。

【委員】

最終的に、委員会としての報告書は作成するか。

【事務局】

今考えているものは、答申書の案とその他意見として作成し、それに、これまでの資料と議事録を全部付けて答申とするものである。

【委員長】

少し時間をいただき事務局とまとめたものを郵送させていただいて、期間を指定するのでその間に修正をお願いすることとしたい。

改めて、12月に第5回の最終の委員会を開きたいがどうか。

【委員】

第5回の会議は1月に開いてほしい。

【事務局】

12月中に答申案の原案を送るので、1月の終わりに、第5回の会議を開き、3月の定例会で報告することとしたい。

【委員長】

よろしくをお願いします。その他について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】

皆様、4回にわたり真摯な議論をしていただき、誠にありがとうございました。

先ほど委員長からもお話があったが、本日の会議内容を踏まえて答申（案）を作成し、一度皆様のご意見をお聞きするため、12月中旬頃に皆さんに郵送する。その後1週間程度で皆さんからご意見をいただき、これを踏まえて再度答申（案）を作成し、第5回会議を1月下旬頃に行つて答申書を検討するといったスケジュールにしたいと思う。

第5回会議の日程は、また追つてご連絡するのでよろしくをお願いします。

【委員長】

それでは、これをもちまして第4回御嵩町庁舎整備検討委員会を閉会いたします。

皆さん、本日はありがとうございました。

午後9時15分散会